

2019年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2018年7月31日

上場会社名 タカラバイオ株式会社

上場取引所 東

コード番号 4974 URL <http://www.takara-bio.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 仲尾 功一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 (氏名) 松崎 修一郎 TEL 077-565-6970

四半期報告書提出予定日 2018年8月10日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第1四半期の連結業績 (2018年4月1日～2018年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第1四半期	8,847	39.2	1,544	487.8	1,559	442.0	1,032	—
2018年3月期第1四半期	6,355	0.8	262	△59.2	287	△56.0	22	△92.0

(注) 包括利益 2019年3月期第1四半期 △495百万円 (—%) 2018年3月期第1四半期 △751百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第1四半期	8.57	—
2018年3月期第1四半期	0.19	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第1四半期	67,643	60,921	89.9	505.09
2018年3月期	68,670	61,959	90.1	513.66

(参考) 自己資本 2019年3月期第1四半期 60,820百万円 2018年3月期 61,852百万円

※2019年3月期の期首より「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等の適用による表示方法の変更を行いましたため、2018年3月期の連結財政状態は、当該変更を反映した遡及修正後の数値を記載しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	0.00	—	4.50	4.50
2019年3月期	—	—	—	—	—
2019年3月期 (予想)	—	0.00	—	6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2019年3月期の連結業績予想 (2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	17,755	25.7	2,500	263.1	2,557	233.8	1,646	444.1	13.68
通期	36,800	13.9	5,000	40.6	5,200	34.6	3,100	32.8	25.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名） 、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期1Q	120,415,600株	2018年3月期	120,415,600株
② 期末自己株式数	2019年3月期1Q	一株	2018年3月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年3月期1Q	120,415,600株	2018年3月期1Q	120,415,600株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する適切な利用に関する説明、その他特記事項）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（4）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（日付の表示方法の変更）

「2019年3月期 第1四半期決算短信」より日付の表示を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) キャッシュ・フローに関する説明	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(四半期連結損益計算書)	
(第1四半期連結累計期間)	6
(四半期連結包括利益計算書)	
(第1四半期連結累計期間)	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報)	9
(その他の注記)	10
3. 補足情報	11
(1) 経営管理上重要な指標の推移	11
(2) 連結比較損益計算書	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費の回復や企業収益の改善により、緩やかな回復が続いていますが、原油・原材料価格の高騰や米国発の貿易摩擦問題が懸念され、景気の先行き不透明感はぬぐえていない状況であります。

このような状況のもと、当社グループは、2018年3月期よりスタートした3ヵ年の中期経営計画「タカラバイオ中期経営計画2019」において、「〈バイオ産業支援事業〉、〈遺伝子医療事業〉、〈医食品バイオ事業〉の3つの事業部門戦略の推進とこれを支える経営基盤を強化し、グローバル企業かつ再生医療等製品企業としてのプレゼンスを向上させ、飛躍的な成長を目指す」ことを全体方針とし、上方修正した最終年度営業利益目標6,000百万円を実現するための取り組みを推進いたしました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、主力の研究用試薬が前年同期比で増加したことに加え、日本におけるNY-ESO-1・siTCR[®]遺伝子治療薬およびCD19・CAR遺伝子治療薬に関する共同開発・独占販売契約にかかる対価料を受領したことにより、8,847百万円（前年同期比139.2%）と増収となりました。売上原価は、品目別の売上構成の変化等により原価率が上昇し、3,491百万円（前年同期比155.5%）となりましたが、売上総利益は、5,355百万円（前年同期比130.3%）となりました。販売費及び一般管理費は、研究開発費等が減少し、3,811百万円（前年同期比99.1%）となり、営業利益は、1,544百万円（前年同期比587.8%）と増益となりました。

営業利益の増益にともない、経常利益は、1,559百万円（前年同期比542.0%）、税金等調整前四半期純利益は、1,548百万円（前年同期比556.6%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、1,032百万円（前年同期比4,544.7%）と増益となりました。

セグメントの状況は、次のとおりであります。

[バイオ産業支援]

バイオテクノロジー関連分野の研究開発活動がますます広がりを見せるなか、当社グループは、こうした研究開発活動を支援する製品・商品やサービスを中心に展開する当事業をコアビジネスと位置づけております。

当第1四半期連結累計期間は、受託サービスの売上高がほぼ前年同期並みでありましたが、研究用試薬と理化学機器の売上高が前年同期比で増加いたしました。

以上の結果、当事業の外部顧客に対する売上高は、6,516百万円（前年同期比110.7%）と増収となりましたが、売上総利益は、品目別の売上構成の変化等により原価率が上昇し、3,539百万円（前年同期比88.1%）となりました。販売費及び一般管理費は、ほぼ前年同期並みの2,850百万円（前年同期比100.0%）となり、営業利益は、689百万円（前年同期比59.1%）と減益となりました。

[遺伝子医療]

当事業では、がん等の疾患を対象とし、腫瘍溶解性ウイルスCanerpaturev（略称C-Rev、旧称HF10）や、独自技術である高効率遺伝子導入技術レトロネクチン法、高効率リンパ球増殖技術であるレトロネクチン拡大培養法、siTCR[®]技術を使用した、遺伝子改変T細胞療法等の遺伝子治療法の開発を進めております。

当第1四半期連結累計期間は、日本におけるNY-ESO-1・siTCR[®]遺伝子治療薬およびCD19・CAR遺伝子治療薬に関する共同開発・独占販売契約にかかる対価料および本契約にもとづく治験製品等の売上高を計上いたしました。

以上の結果、当事業の外部顧客に対する売上高は、1,931百万円（前年同期は実績なし）となり、売上総利益は、1,744百万円（前年同期は実績なし）となりました。販売費及び一般管理費は、研究開発費の減少により301百万円（前年同期比72.0%）となり、営業利益は、1,442百万円（前年同期営業損失419百万円）と大幅に改善いたしました。

[医食品バイオ]

当事業では、当社グループ独自の先端バイオテクノロジーを駆使して食物の科学的根拠を明確にした機能性食品素材の開発、製造および販売を行っており、ガゴメ昆布フコイダン関連製品、寒天アガロオリゴ糖関連製品、明日葉カルコン関連製品、ボタンボウフウイソサミジン関連製品、ヤムイモヤムスゲニン関連製品およびキノコ関連製品等を中心に事業を展開しております。

当第1四半期連結累計期間は、キノコ関連製品の売上高が前年同期比で増加いたしました。健康食品関連製品の売上高が前年同期比で減少いたしました。

以上の結果、当事業の外部顧客に対する売上高は、399百万円（前年同期比85.3%）と減収となり、売上総利益は、71百万円（前年同期比76.3%）となりました。販売費及び一般管理費は、ほぼ前年同期並みの116百万円（前年同期比99.3%）となり、営業損失は、45百万円（前年同期営業損失24百万円）と悪化いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、67,643百万円となり、前連結会計年度末に比べて1,027百万円減少いたしました。これは主に、受取手形及び売掛金の減少2,038百万円によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、6,721百万円となり、前連結会計年度末に比べて9百万円増加いたしました。これは主に、未払法人税等の増加232百万円や引当金の増加222百万円があったものの、支払手形及び買掛金の減少251百万円や流動負債のその他に含まれる未払金の減少248百万円があったことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、60,921百万円となり、前連結会計年度末に比べて1,037百万円減少いたしました。これは主に、為替換算調整勘定の減少1,525百万円によるものであります。

(3) キャッシュ・フローに関する説明

営業活動によるキャッシュ・フローは、2,954百万円の収入となり、前年同期の支出から収入に転じ、3,036百万円の収入増加となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益の増加1,270百万円やその他の流動負債の減少による支出が1,032百万円減少したことによるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、2,531百万円の支出となり、前年同期に比べて9,495百万円の支出減少となりました。これは主に、前年同期に発生した連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出12,396百万円がなくなったことによるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、508百万円の支出となり、前年同期に比べて59百万円の支出増加となりました。これは主に、配当金の支払額が62百万円増加したことによるものであります。

以上の結果、現金及び現金同等物に係る換算差額を含めた当第1四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は、9,601百万円となり、前連結会計年度末より450百万円の減少となりました。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の連結業績は、売上高および各利益項目（営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する四半期純利益）のすべてにおいて、ほぼ計画通りに推移しておりますので、現時点においては、2018年5月11日に公表した連結業績予想を修正いたしておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,537	18,689
受取手形及び売掛金	8,031	5,993
有価証券	2,000	2,000
商品及び製品	4,484	4,725
仕掛品	334	670
原材料及び貯蔵品	1,192	1,258
その他	978	1,070
貸倒引当金	△42	△43
流動資産合計	34,516	34,364
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	12,825	12,776
減価償却累計額	△5,611	△5,664
建物及び構築物(純額)	7,214	7,112
機械装置及び運搬具	7,561	7,495
減価償却累計額	△5,360	△5,378
機械装置及び運搬具(純額)	2,201	2,116
工具、器具及び備品	7,080	7,037
減価償却累計額	△4,613	△4,711
工具、器具及び備品(純額)	2,466	2,326
土地	6,588	6,586
リース資産	16	15
減価償却累計額	△16	△15
リース資産(純額)	-	-
建設仮勘定	63	506
有形固定資産合計	18,534	18,649
無形固定資産		
のれん	8,259	7,643
その他	5,903	5,387
無形固定資産合計	14,163	13,030
投資その他の資産		
投資その他の資産	1,456	1,598
投資その他の資産合計	1,456	1,598
固定資産合計	34,154	33,278
資産合計	68,670	67,643

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,875	1,623
未払法人税等	431	664
引当金	333	556
その他	3,104	2,899
流動負債合計	5,745	5,743
固定負債		
退職給付に係る負債	659	669
その他	307	307
固定負債合計	966	977
負債合計	6,711	6,721
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,965	14,965
資本剰余金	32,893	32,893
利益剰余金	12,285	12,775
株主資本合計	60,144	60,635
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	2,042	516
退職給付に係る調整累計額	△334	△331
その他の包括利益累計額合計	1,707	185
非支配株主持分	106	101
純資産合計	61,959	60,921
負債純資産合計	68,670	67,643

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
売上高	6,355	8,847
売上原価	2,245	3,491
売上総利益	4,109	5,355
販売費及び一般管理費		
従業員給料及び賞与	898	986
退職給付費用	43	44
研究開発費	1,103	1,014
引当金繰入額	136	132
その他	1,664	1,632
販売費及び一般管理費合計	3,846	3,811
営業利益	262	1,544
営業外収益		
受取利息	19	18
為替差益	4	-
不動産賃貸料	21	23
その他	7	8
営業外収益合計	52	49
営業外費用		
支払利息	5	-
為替差損	-	23
休止固定資産費用	14	2
不動産賃貸費用	7	5
その他	0	2
営業外費用合計	27	34
経常利益	287	1,559
特別利益		
固定資産売却益	0	-
特別利益合計	0	-
特別損失		
固定資産除売却損	9	10
特別損失合計	9	10
税金等調整前四半期純利益	278	1,548
法人税、住民税及び事業税	409	702
法人税等調整額	△155	△188
法人税等合計	253	514
四半期純利益	24	1,034
非支配株主に帰属する四半期純利益	1	2
親会社株主に帰属する四半期純利益	22	1,032

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
四半期純利益	24	1,034
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△789	△1,533
退職給付に係る調整額	13	3
その他の包括利益合計	△775	△1,530
四半期包括利益	△751	△495
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△753	△490
非支配株主に係る四半期包括利益	2	△5

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	278	1,548
減価償却費	580	669
その他の償却額	32	48
のれん償却額	109	123
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	36	2
その他の引当金の増減額 (△は減少)	△26	225
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	12	11
受取利息	△19	△18
支払利息	5	-
固定資産除売却損益 (△は益)	9	10
売上債権の増減額 (△は増加)	1,663	1,903
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△700	△818
仕入債務の増減額 (△は減少)	△282	△184
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△1,054	△21
その他	△498	△145
小計	147	3,353
利息及び配当金の受取額	11	8
利息の支払額	△0	-
法人税等の支払額	△240	△407
営業活動によるキャッシュ・フロー	△81	2,954
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,082	△2,000
定期預金の払戻による収入	1,545	333
有形及び無形固定資産の取得による支出	△403	△829
その他償却資産の取得による支出	△18	△35
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△12,396	-
その他	328	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△12,027	△2,531
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△445	△508
リース債務の返済による支出	△3	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	△449	△508
現金及び現金同等物に係る換算差額	△320	△364
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△12,878	△450
現金及び現金同等物の期首残高	22,200	10,051
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,321	9,601

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自2017年4月1日至2017年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	バイオ産業 支援	遺伝子 医療	医食品 バイオ	合計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
売上高						
外部顧客への売上高	5,886	-	468	6,355	-	6,355
セグメント間の内部売上高 または振替高	-	-	-	-	-	-
計	5,886	-	468	6,355	-	6,355
セグメント利益または 損失(△)	1,165	△419	△24	722	△459	262

(注) 1. セグメント利益または損失(△)の調整額△459百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費および研究開発費であります。

2. セグメント利益または損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「バイオ産業支援」セグメントにおいて、当社の100%子会社であるTakara Bio USA Holdings Inc.がWaferGen Bio-systems, Inc.およびRubicon Genomics, Inc.の株式を取得したことにより、のれんを計上しております。当該事象によるのれんの増加額は、当第1四半期連結累計期間においては7,709百万円であります。なお、取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	バイオ産業 支援	遺伝子 医療	医食品 バイオ	合計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
売上高						
外部顧客への売上高	6,516	1,931	399	8,847	-	8,847
セグメント間の内部売上高 または振替高	-	-	-	-	-	-
計	6,516	1,931	399	8,847	-	8,847
セグメント利益または 損失(△)	689	1,442	△45	2,086	△541	1,544

(注) 1. セグメント利益または損失(△)の調整額△541百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費および研究開発費であります。

2. セグメント利益または損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(その他の注記)

(四半期連結損益計算書関係)

当第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

研究開発費の内訳

研究開発費の総額

1,014百万円

このうち主なものは、次のとおりであります。

従業員給料及び賞与

312

退職給付費用

10

引当金繰入額

53

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

(2018年6月30日現在)

現金及び預金勘定

18,689百万円

預入期間が3か月を超える定期預金

△9,088

現金及び現金同等物

9,601

3. 補足情報

(1) 経営管理上重要な指標の推移

① キャッシュ・フロー

(単位:百万円)

	第16期 第1四半期連結累計期間 自2017年4月1日 至2017年6月30日	第17期 第1四半期連結累計期間 自2018年4月1日 至2018年6月30日	第16期 自2017年4月1日 至2018年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	△81	2,954	3,935
投資活動によるキャッシュ・フロー	△12,027	△2,531	△14,755
財務活動によるキャッシュ・フロー	△449	△508	△1,205

② 地域別売上高

(単位:百万円)

	第16期 第1四半期連結累計期間 自2017年4月1日 至2017年6月30日	第17期 第1四半期連結累計期間 自2018年4月1日 至2018年6月30日	第16期 自2017年4月1日 至2018年3月31日
日本	2,414	4,248	14,266
米国	1,776	1,995	7,240
中国	1,075	1,307	5,524
日本・中国除くアジア	432	410	1,754
欧州	591	811	3,257
その他	64	73	268
合計	6,355	8,847	32,312

③ 報告セグメントごとの研究開発費

(単位:百万円)

	第16期 第1四半期連結累計期間 自2017年4月1日 至2017年6月30日	第17期 第1四半期連結累計期間 自2018年4月1日 至2018年6月30日	第16期 自2017年4月1日 至2018年3月31日
バイオ産業支援	650	670	2,693
遺伝子医療	415	298	1,804
医食品バイオ	1	-	6
全社共通	36	45	148
合計	1,103	1,014	4,653

(2) 連結比較損益計算書

(百万円未満切捨て)

	2018年3月期 第1四半期 連結累計期間実績	2019年3月期 第1四半期 連結累計期間実績	前期比 増減	前期比 比率
(売上高)				
研究用試薬	4,660	5,246	586	112.6%
理化学機器	472	517	44	109.5%
受託サービス	633	630	△3	99.4%
その他	119	122	2	102.0%
バイオ産業支援計	5,886	6,516	629	110.7%
遺伝子医療	-	1,931	1,931	-
健康食品	179	103	△75	57.7%
キノコ	288	295	6	102.4%
医食品バイオ計	468	399	△68	85.3%
売上高計	6,355	8,847	2,492	139.2%
(営業損益)				
売上高	6,355	8,847	2,492	139.2%
売上原価	2,245	3,491	1,246	155.5%
売上総利益	4,109	5,355	1,245	130.3%
販売費一般管理費	3,846	3,811	△35	99.1%
運送費	143	158	15	110.5%
宣伝費	19	16	△3	82.8%
促進費	222	164	△57	73.9%
研究開発費	1,103	1,014	△89	91.9%
管理費、その他	2,304	2,365	61	102.7%
事業税(外形基準)	53	92	38	171.3%
営業利益	262	1,544	1,281	587.8%
(営業外損益)				
営業外収益	52	49	△3	94.2%
営業外費用	27	34	7	126.0%
経常利益	287	1,559	1,271	542.0%
(特別損益)				
特別利益	0	-	△0	-
特別損失	9	10	1	111.3%
税金等調整前四半期純利益	278	1,548	1,270	556.6%
法人税等	253	514	260	202.4%
四半期純利益	24	1,034	1,010	4268.5%
非支配株主に帰属する四半期純利益	1	2	0	143.2%
親会社株主に帰属する四半期純利益	22	1,032	1,009	4544.7%
減価償却費(有形・無形)	580	669	88	115.2%
のれん償却額	109	123	14	112.9%

セグメント別損益(営業利益)

	2018年3月期 第1四半期 連結累計期間実績	2019年3月期 第1四半期 連結累計期間実績	前期比 増減	前期比 比率
バイオ産業支援	1,165	689	△476	59.1%
遺伝子医療	△419	1,442	1,861	-
医食品バイオ	△24	△45	△21	-
全社(共通)	△459	△541	△82	-
計	262	1,544	1,281	587.8%